

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

研究課題名：尿中有形成分分析装置「Atellica UAS800」を用いた尿検査の有用性

・はじめに

尿を遠心機で遠心し、尿中の成分を顕微鏡で見て評価する検査を尿沈査検査と呼びます。近年、検査の自動化に伴い、尿中有形成分を機械で自動判定する自動分析装置が臨床の現場で用いられています。自動分析装置の測定原理には、細胞を専用の試薬と共に流路に流し、レーザー光線を当てて細胞を鑑別する方法（サイトメトリー法）と、細胞の写真をとり、コンピューター上で撮影した画像を確認して細胞を鑑別する方法（画像処理法）があります。

今回研究で用いる尿中有形成分分析装置「Atellica UAS800」は画像処理法を原理とする分析装置です。研究では提出された尿検体の検査後の残余尿を用いて、サイトメトリー法を測定原理とする分析装置（UF-1000i）、画像処理法を測定原理とする分析装置（Atellica UAS800）、および顕微鏡で尿沈渣を行う鏡検法でそれぞれ測定し、その結果を比較することによって画像処理法を用いた装置の有用性を検討します。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの（「試料」といいます）や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

群馬大学医学部附属病院で尿検査を行った方の検査後の残余尿を用いて、サイトメトリー法を測定原理とする分析装置（UF-1000i）、画像処理法を測定原理とする分析装置（Atellica UAS800）、および顕微鏡で尿沈渣を行う鏡検法でそれぞれ測定し、その結果を比較することによって画像処理法を用いた装置の有用性を検討し、結果を学会で発表します。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部附属病院において 2019 年 7 月 1 日から 2019 年 7 月 31 日まで

に尿検査を受けられた方のうち、約 1,000 名を対象に致します。

対象となることを希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。

希望されなかった方の試料または情報は、研究には使用しません。

対象者自身が拒否の意思を示せない方（未成年者、十分な判断能力がないと客観的に判断される方、意識のない場合、または緊急かつ生命の危機が生じている方、病名に対する配慮が必要な方、患者死亡等）の場合は、父母・親族・成人の兄弟を代諾者とし、代諾者からも拒否の旨を受け付けます。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が 2019 年 11 月以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承ください。

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より 2020 年 10 月 31 日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

群馬大学医学部附属病院で行った尿検査の検査後の残余尿を用います。

患者さんの病歴や治療歴等の情報を用いることがあります。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は正しい尿検査の向上一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

対象となる方に経済的負担又は謝礼が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学検査部においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

この研究により得られた尿などの検体は、検査終了後、直ちに破棄いたします。また、研究のために集めた情報は、当院の管理責任者（神山恵多）が責任をもって検査部内のアクセス権限管理されたコンピューター上、および施錠できる管庫内で保管し、研究終了後は 10 年間保存し、保存期間が終了した後に個

人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄いたします。情報は紙媒体の情報はシュレッダーにて、データはデータ消去ソフトにて消去します。

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

本研究において使用する研究費はありません。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないかと、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われたいのではないかと（企業に有利な結果しか公表されないのではないかと）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

（ホームページアドレス：<https://www.rinri.amed.go.jp/>）

・研究組織について

この研究は、群馬大学検査部が行う研究です。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属：大学院医学系研究科 臨床検査医学

職名：教授

氏名：村上 正巳
連絡先：027-220-8555

研究分担者

職名：准教授
氏名：木村 孝穂
連絡先：027-220-8555

研究分担者

職名：臨床検査技師長
氏名：中嶋 清美
連絡先：027-220-8555

研究分担者

職名：主任臨床検査技師
氏名：神山 恵多
連絡先：027-220-8555

研究分担者

職名：臨床検査技師
氏名：藤井 咲枝
連絡先：027-220-8555

研究分担者

職名：臨床検査技師
氏名：茂木 裕一
連絡先：027-220-8555

・ 研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をと

る担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師

氏名：茂木 裕一

連絡先：〒371 8511

群馬県前橋市昭和町 3-39-15

Tel：027-220-8555

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 利用し、または提供する試料・情報の項目
 利用する者の範囲
 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法